

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2006-73603(P2006-73603A)

【公開日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-011

【出願番号】特願2004-252127(P2004-252127)

【国際特許分類】

H 01 L 21/68 (2006.01)

H 01 L 21/677 (2006.01)

B 65 G 49/07 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/68 M

H 01 L 21/68 C

B 65 G 49/07 H

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月27日(2006.11.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも表面に保護テープが貼り付けられたウエハを保持して回転させ、このウエハの外周部を赤外線を用いて非接触で検出してアライメントするウエハのアライメント方法。

【請求項2】

上記ウエハの外周部を、赤外線照射手段と赤外線受光手段を用いて赤外線で検出する請求項1に記載のウエハのアライメント方法。

【請求項3】

ウエハを非接触式ハンドにて吸着保持しながらアライメントを行う請求項1又は2に記載のウエハのアライメント方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

上記ウエハの外周部を、赤外線照射手段と赤外線受光手段を用いて赤外線で検出するようになる(例えば、赤外線発光素子とCCDカメラ、赤外線発光素子と赤外線受光素子の組み合わせ等)。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

図2(b)は、上記赤外線照射ユニット22の他の例を示し、コ字状となるセンサーフレーム27の先端部上下に、赤外線発光素子23と赤外線受光素子28を対向するように配置したものであり、上述した赤外線発光素子23とCCDカメラ24の場合と同様に、ウエハ1の外周端部を非接触で正確に検出してアライメントすることができる。